



モリノコエ

by fuu+017 / TSUBAKI LAB.

2018/6/1 - 6/10
@moriwaku cafe

森という舞台

森の中でたくましく生きる木々たち

中には大きくその存在を主張する大木もあれば、
その下でわずかな光を浴びながらじっと耐える木もあり、
そんな様子をよそめにひょうひょうと光のほうへ枝を伸ばす木もあります。
森を舞台に、木々たちはそれぞれの役どころでその命を全うしています。

森の現実

図らずして切り倒された木々の中には、有用材として森から運び出され、木材として様々な人の手を経て、私たちの暮らし届けられる木がある一方で、多くは小径や曲がり、腐れ、枝、そもそも雑木として価値がないとされ森の中にそのまま放置されています。

モリノコエを聞く

そんな森の中に残された木々たちの「私たちにもいいところあるよ」という声が聞こえてきます。同じように暮らしの道具に変えていくことはできるはず。立派な家具にはなれないけど、あったらいいなって思えるちょっとしたものにはなれるはず。中には、すごい魅力を秘めた木もあったり。木で仕事をするものとして「私たちにもいいところあるよ」と語りかけてくるその声に応えたい。

モリノコエができるまで

長良川の源流、岐阜県郡上市白鳥の山奥「六ノ里峠」にて広葉樹の森の手入れを行う「ものづくりで森づくりネットワーク（通称：ものもり）」から“価値がない”とされる木々たちを購入し、暮らしの道具に作り変えていきました。大きな木材から効率的に加工することはできませんが、一本一本と対話を楽しみながら。

モリノコエ

Presented by fuu+017

岐阜県郡上市八幡町島谷591-1

MAIL : fuutasujuunana@gmail.com

<https://www.facebook.com/fuutasujuunana/>

TSUBAKI LAB. 岐阜県岐阜市椿洞1228-1

MAIL : hello@tsubakilab.jp

<http://tsubakilab.jp/>